

令和 8 年 8 月 1 日
国土交通省中部地方整備局
国土交通省九州地方整備局

浚渫兼油回収船「清龍丸」による給水支援の開始
～令和 8 年熊本地震に関する中部地方整備局・九州地方整備局の取り組み～
【八代港（熊本県 八代市）にて、給水支援を開始】

中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、8月1日（土）に八代港で支援物資の荷降ろしを行いましたが、さらに、8月1日（土）より熊本県八代港で、給水車への水供給による支援を開始します。給水車に積載された水は、各地の応急給水施設を通じて被災者の皆様へ届けられます。

1. 場所

熊本県 八代港 外港地区岸壁（別紙参照）

2. 給水支援の内容

下記の期間・時間帯で「清龍丸」から給水車へ給水支援を行います。給水車は各応急給水施設に運搬し、被災者の方に飲料水の供給を行います。

日時 8月1日（土）14:00 から 17:00 まで（予定）

8月2日（日） 7:00 から 17:00 まで（予定）

- ※ 水切れや悪天候等により、支援活動を一時中断・中止することがあります。
- ※ 飲料水は約 150 トン（給水車約 50 台分）用意しています。なくなり次第、給水支援は終了します。
- ※ 一般の方への配布は行いません。

＜給水イメージ＞



3. その他

現地取材にあたり、ご本人確認をしますので、身分証明書をお持ちください。

【問い合わせ先】

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 : 052-209-6328
課長 西尾 賢二 、課長補佐 林 友弥

<給水所詳細>

※注意 通行止め箇所への進入は絶対にしないでください



【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

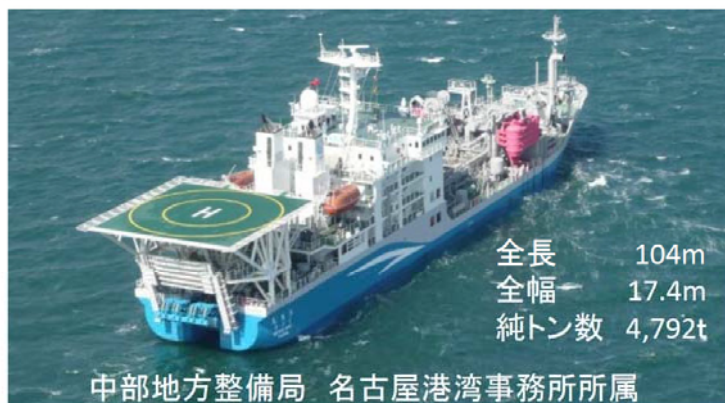
国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、大規模な災害では、緊急支援物資の運搬や給水・入浴等の支援が可能な船であり、東日本大震災や西日本豪雨、平成28年の熊本地震でも支援を行っています。

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
- 高精度で平坦浚渫を可能とする幅広なセンタードラッグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時の支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
- 情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等を目的としてヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。

災害支援 災害支援機能

迅速な被災状況の把握、人員・物資輸送に対応可能。
ヘリコプターデッキや災害対策室、望遠カメラなど災害支援に必要な機器を装備。



ヘリコプターデッキ



災害対策室



高感度望遠カメラ

地震・豪雨災害への支援実績

清龍丸の活躍

緊急支援物資(食料品、飲料水、生活用品等)を海上輸送。
船のタンクからの給水支援、船内浴室を開放した入浴支援。

平成23年 東日本大震災

平成28年 熊本地震

平成30年 西日本豪雨



釜石港にて支援物資陸揚げ



大分港にて支援物資を陸揚げ



堺泉北港～呉港へ
支援物資を輸送



苫小牧港～大船度港へ輸送



三角港にて入浴支援



呉港にて入浴・洗濯支援